



# 海のたより



微風の6月スモールレース  
 ハーバー前の海面で  
 接戦が展開されました  
 スタート直後のスピラン  
 帰りの竹島マークで風がvari  
 フィニッシュ直前  
 中央のホープが優勝

目 次		行 事 予 定
表 紙	接戦の6月スモールレース	7月11,12日 三河湾周航レース(ナイト)
P 2	MCCカップレース、アルミス優勝	7月19日 ヨット体験乗船会
P 3	MCCカップレース成績表	7月24-26日 第50回パールレース
P 4	6月スモールレース、ホープ優勝	7月26日 蒲郡花火大会(竹島沖)
P 5	6月スモールレース成績表	8月2日 蒲郡マリンカップヨットレース
P 6	第11回蒲郡マリンカップの案内	8月30日 理事長杯、MCC8月ポイントレース
P 7	会員艇の紹介「千春」	

# MCC カップレース優勝

アルミス5 稲垣

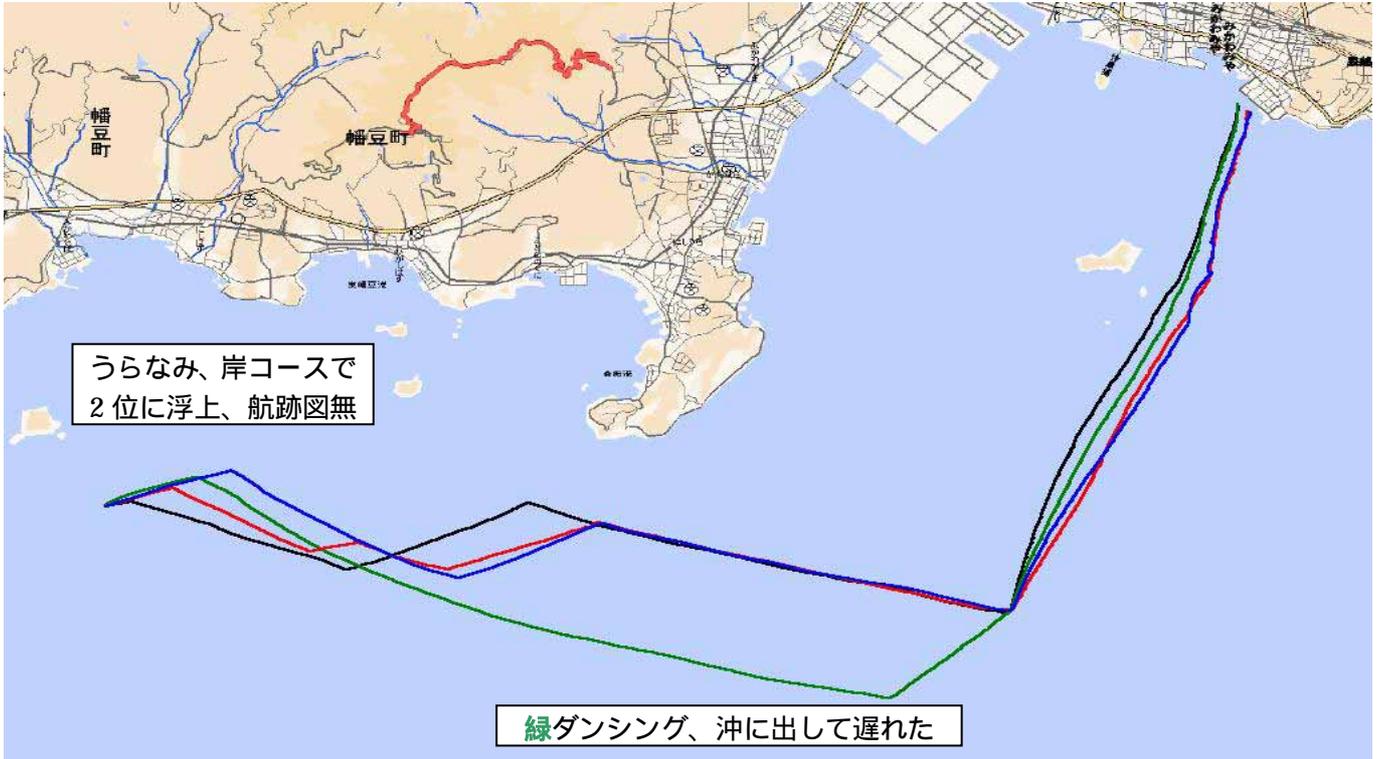
前日の天気予報では深夜に降り出した雨がお昼頃まで続き、東の風で弱いとの予報であった。普段は外すことが多い天気予報だが、こうした日の予報はよく当たるものである。

午前6時にアルミスのメンバー5名と地元のセールメーカーの水越さん、6名が旧蒲郡ハーバーに集合、参加艇は9艇、艇長会議後、雨の中レース海面へ向かう、天気予報どおりの弱い東の風、スタート後に少しでも早く風をつかむことを考え、赤灯台よりからスタートして上り気味で良い風を拾うことにする。

作戦通りに赤灯台よりからジャストスタート、スーパーウエイブと風上側に位置して小島東に向かう。小島に近づきスピンを揚げるタイミングを考えていると、いつもスピンを揚げるのが早いベベさんが既に上げ始めていた。それを見て直ぐに「スピン UP……………」までは良かったが、スピンシートが暴れた際にシャックルが外れてしまい、スピンシートを付け直そうとするとアフターガイまで外れてしまって、スピンのぼり状態になってしまった。高さを稼いだ分だけ早くスピンを揚げたのだが残念、スーパーウエイブに追い越され順位を落としてしまった。小島沖の手前で全艇スピンアップして豊橋潮流ブイへ向かう。

豊橋潮流ブイでは**ホーネット**、**ダンシング**、**Sウェーブ**、**アルミス**、ウラナミ、ベベ、ランナー、ルートリス、オデッセイ(5分遅れスタート)、の順で回航、各艇ジャイブして西浦方向に向かう、**ダンシング**はジャイブせずに沖へ向かう。トップの**ホーネット**に引き離されながら**Sウェーブ**の後に続く。西浦半島のブランケットの嫌い西浦沖でジャイブし沖だしする。ウラナミ、ベベの2艇は沖島近くまで行きジャイブする。梶島手前で沖だしをしていた**ダンシング**とミートするが沖は風が無いようだ、先行する事ができた。しかし、岸には風と潮(当日は大潮)が有るようでウラナミに先行されてしまう。

(下図は、スタートから梶島までの航跡図 **ホーネット黒**、**アルミス青**、**Sウェーブ赤**、**ダンシング緑**)



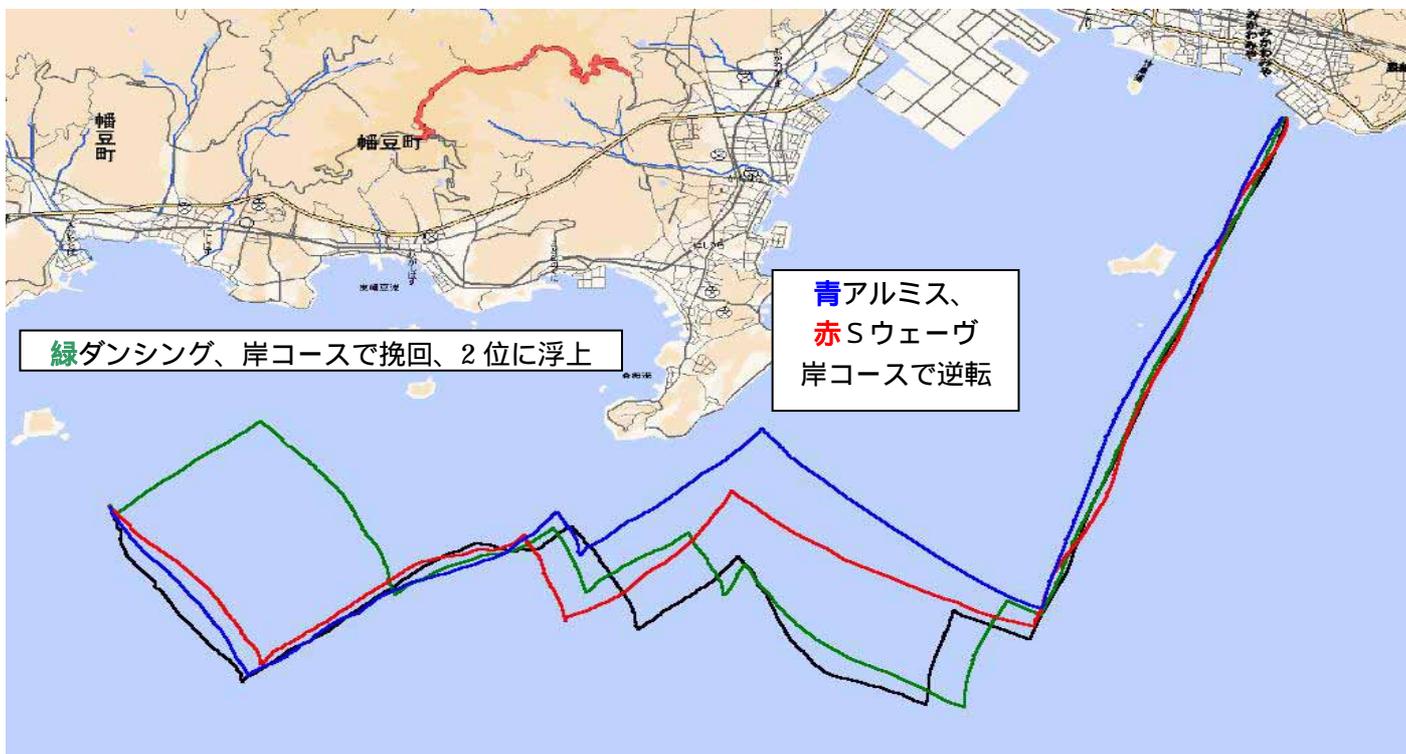
梶島ブイを**ホーネット**、ウラナミ、**アルミス**、ベベ、**Sウェーブ**、**ダンシング**、ルートリス、ランナー、オデッセイ(5分遅れスタート)の順で回航する。回航後、岸よりに風があると読んだ**ダンシング**は岸に向かう。潮を考え沖に向かった**ホーネット**の後に続くが、風が無く艇速の伸びない**ホーネット**を見てタック、次のミート時には岸に向かった**ダンシング**に先行されてしまう。**ダンシング**の走りを見てまだ岸に風が残っていると考え西浦半島に向ける。西浦に近づくと風速は上がり、その上風向が東に振れる。西浦サーキット前でタックすると正面に豊橋潮流ブイが見える。西浦沖で風が無くコース取りに苦労する各艇を見ながら豊橋潮流ブイを**アルミス**、**Sウェーブ**、**ホーネット**、**ダンシング**、ベベ、ランナー、ルートリス、オデッセイ、ウラナミの順に回航する。

MCC海のたよい7月号MCC海のたよい7月号MCC海のたよい7月号

ここまで来ると気になるのは優勝の行方である。Sウェーブとの距離は 1,000m、今年から MCC で採用された MRC (IRC参考レーティング)でアルミスのレーティングが異常に上がり、昨年まで同じレーティングのダンシングに1時間当たり18秒、後続艇のSウェーブに1時間当たり108秒早く走らないと勝てなくなり時間が気になる。今回のように4時間のレースではSウェーブに432秒(7分12秒)以上の差をつけないと勝てない。豊橋潮流ブイ回航でSウェーブと5分35秒差である、豊橋潮流ブイ回航で1分30秒近く負けていた。その後、良い風をつかみ艇速を伸ばすことができ8分50秒差でフィニッシュできた。

今回のレースを振り返ると、遅れてしまった事で思い切ったコース取りができ、運良く勝てたのだと思います。(レーティングが高く、走らないアルミスを見た風の女神が哀れに思ってくれたようですね)

(下図は、梶島からフィニッシュまでの航跡図 ホーネット黒、アルミス青、Sウェーブ赤、ダンシング緑)



今回、ララの山本さんから4艇にGPSをお借りして航跡データを取り「どこでもヨットレース」とフリーソフトで4艇の航跡を見ることができました。参加全艇にGPSを載せることができるとパーティーが盛り上がりそうですね。(航跡図は山本さんに頂きました)



名称	MCCカップレース							
コース	S - 小島 - 豊橋潮流 - 梶島 - 豊橋潮流 - 小島 - F							
距離	19		マイル					
風速	5m 以下							
スタート	7:00:00							
セーラー No	艇名	TYPE	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	順位
4774	Armiss 5	J/V9.6CR	1.021	11:08:40	1	4:08:40	4:13:53	1
5550	Super Wave 6	Slot 31	0.992	11:17:30	2	4:17:30	4:15:26	2
5933	Dancing Beens 3	Seam 31	1.016	11:30:35	4	4:30:35	4:34:55	3
5824	Hornet	Yamaha 33S	1.044	11:28:21	3	4:28:21	4:40:09	4
4825	BeBe	Pioneer 9FR/PB	0.918	12:22:50	5	5:22:50	4:56:22	5
4832	Odyssey	Tsuboi IMS950	0.98	12:46:48	6	5:46:48	5:39:52	6
3687	Runner	Yamaha 30SII	0.93	13:18:13	7	6:18:13	5:51:44	7
4932	Lutris	Slot 31	0.992	13:42:45	8	6:42:45	6:39:32	8
5404	Uranami 9	J92	0.988	DNF	DNF			

## 6月スモールクルーザーレース優勝

ホープ 南原

今シーズン初のスモールへの参戦。結果はファーストホーム、もちろん1位。天気は小雨模様、昨日運営の応援をした大学生のレースが隣の海面で行われており後輩の成績が気になってソワソワ。風は早い時間から東の順風。最近ではベタばかりなので一安心。

早速上架してあったホープを降ろす。しかし船外機がかからない？いくらロープを引いてもかからない？燃料は行っているはずなのに？？？しかし、とにかく後続があるので舳いロープで引っ張って棧橋に移動、落ち着いて考えるとエンジンスターターのピンが着いていなかっただけ。レース前なのに疲れがどっと……

気を取り直して、艇長会議。参加はいつに無く多くて6艇。コミッティーのメーヴェも出すようだ。東風はランニングでのスタートになるみたいでなんだか難しそう。ウエザーとアウターのマークは1着と最後の艇が回収との事、たぶん自分に関係ないと聞き流す。そうそう、2009-2012ルールに変わって、マークルームは3艇身です。

そして海面に。風は陸上にいたときほどは無さそうだ。予定通りランニングでスピンアップしてのスタート。リトルウイディ、ハニービー、ヴァイキングと絡みながらスピンラン。どの艇も一進一退の状況だが、周りが遅れるのはレーティングの低いホープにとってはリードなので想定内。艇団が離れないまま3番手で風下のウエザーマークに到達。先頭ヴァイキングが回航……できていない！！マーク付近で停止？とにかく避けなければ。2番手のリトルウイディとともに外を大周りしたところ、ハニービーとアヤは内側を小回りして一気に前に。そりゃ無いよ。



往路、竹島マークへ

次は小島の潮流ブイまでほぼ片上り。ポールが片付かなくてジブの引き込みが遅れたが、リトルも同じ。離されずに済んだ。先行したハニービーは、あれ？スピードが無い。アヤの真後ろから徐々に上側に出して風も取れてますます。ヴァイキングがごぼう抜きしていくが、タイム勝負なのであせらず行こう。

潮流ブイはヴァイキング、アヤに次いで3位回航。今度は逆コースのスピンラン。これはそれほど波乱なく……は2 / 3まで。その後、風が極端に落ちて風向もマーク方向に振れ、クローズのコースに様変わり。潮が気になりいち早くタックしたものの、あまりよくないのでもたタック。このロスでリトルがすぐ後ろに。観念してじっくり待つこと数分。

ほんの少しのブローで岸にタック。ここは艇速が確保できるようで、アヤとヴァイキングに追いついた。スターボのラインで返して回航できると思ったが、マークタッチ。でもとにかく回航はして、その後で速やかに1回転をすればいい。でも、この風、団子状態のためギャラリーから声援がやけに多い。落ち着いてヒール入れてラフィング・タック・逆ジブ・ベアウエイ・ジャイブこれで完了。逆ジブが意外と効果あり。これは十分風があるとお気楽モードに。

フィニッシュマークまではまたも追っ手。風は超微風、とりあえずスピンアップ。しばらくしてようやく走り出す。マーク方向にとらわれず走れる角度重視。前方ではヴァイキングがマーク方向に下してスピンがつぶれている、しめしめ……そして追いついた。このまま秒差の2着なら優勝は間違いなし。さらに、マークの片付けもなし、だったはずが、スピード重視が功を奏してなんとファーストホーム。2着はヴァイキング(3位)、3着に怒涛の追い上げハニービー(2位)でした。

関係ないと高をくっていたマーク回収に向かうが、これも悪くないですね。次回、7月19日はホープがコミッティーです。皆さんの参加をお待ちしています。

関係ないと高をくっていたマーク回収に向かうが、これも悪くないですね。次回、7月19日はホープがコミッティーです。皆さんの参加をお待ちしています。



どんより雲の下、艇長会議、駆け引きが始まった



超微風の復路、帰りもスピン

## 6月、スモールクルーザーレース



コメント	小雨の中、集まったのは6艇、そよ風の中を11時スタート 風は東、第1マークは竹島沖、スタート同時にスピナップ、スート行くつもりが中々滑らない 少ない風をつかみながら、ジャイブしたり…… 竹島マークはバイキングが一番手、でもスピナ回収にモタモタ、後続艇は障害物レースに ホープ、リトルウィンディーはまともに……その間隙をかわしたのはハニービーとアヤ
	小島マ - クまでは単調な片のぼり、艇長をいかしたバイキングが艇速を伸ばし再びトップに、 続くはアヤ、ホープ、ハニービー、各艇、スピナップ、風は安定しこのまま推移すると思っただ、 竹島マークに近づくとつれ風が前にそして弱く……マーク近くでは風はほとんど無く潮に流されるのみ、 ホープはマークタッチ、アヤはマークに近づけずハニービーが先行する 最終レグ、風の無い中を拾いながら進める各艇、ホープが鼻先でかわしファーストホーム、 僅かに遅れてバイキング、良く追いつけたハニービーが続き、リトル、アヤ、メーベは遅れた。

名称		6月スモールクルーザーレース						
コース		S - W(竹島) - 小島ブイ - W(竹島) - F						
距離		4		マイル				
風速		5m 以下						
スタート		11:00:00						
						(B)	(A*B)	
セ-ル No	艇 名	TYPE	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	順位
66	Hope	YAM21C	0.817	12:45:50	1	1:45:50	1:26:28	1
4418	HoneyBee	YAM23	0.844	12:48:42	3	1:48:42	1:31:45	2
167	Viking	X79	0.885	12:45:52	2	1:45:52	1:33:42	3
375	LittleWindy	Y 21R&CT	0.828	12:57:29	4	1:57:29	1:37:17	4
5426	AYA	YAM21S	0.822	12:59:53	5	1:59:53	1:38:33	5
164	Moewe	Yamaha 23II	0.844	13:02:45	6	2:02:45	1:43:36	6



夏は海で遊ぼう！スナメリの泳ぐ海を守ろう！！

## 第11回蒲郡マリンカップヨットレース

2009.8.2(SUN)

11:00 START!

コース 三谷 - 小島(東) - 帆走区域灯標 - 小島(東) - 三谷

(大島、小島、仏島、三島めぐりレース)

夏・恒例の、楽しいイベントを企画しました。

三谷漁業協同組合の協力を得て、レース後は魚市場でバーベキューです。

レーサーもファミリーも一緒に楽しみましょう！！

賞品多数！乞うご期待！

主催 蒲郡マリンカップヨットレース実行委員会  
共催 三河湾クルージングクラブ、白谷ヨットクラブ、JSAF外洋東海三河湾F  
協力 三谷漁業協同組合、三谷漁港利用者会ヨット部会  
適用規則 2009-2012 国際セーリング規則、帆走指示書  
参加資格 小型船舶安全検査合格艇 乗員制限 小型船舶安全検査定員以下  
出艇申告・艇長会議 8月2日(日)9:00 三谷漁港魚市場

### 申込締切 7月26日(日)

申込方法 郵送またはFAX 艇名、艇種、セルNo、連絡先住所、氏名、電話、FAX(様式別紙)  
申込先 蒲郡マリンカップヨットレース実行委員会  
FAX 0533-57-4401 郵送先 443-0104 蒲都市形原町三浦町 11-3  
参加料 30f未満 8千円、30f以上 1万円  
(バーベキュー参加料を含む、炭、食材、その他を用意いたします。)  
振込先 三菱東京UFJ銀行名古屋営業部・普通・No2334627・口座名 ヨットレース実行委員会

表彰 8月2日(日)14:00 三谷漁港魚市場  
部門分け・レーサー部門、クルーザー部門  
クラス分け・各部門の参加艇数に応じてクラス分けする。  
修正時間システムは、本レース独自のものを使用する。  
各部門、各クラス別上位艇を表彰する。全艇に参加賞あり。  
泊地 8月1日(土)は、三谷漁港内に係留可、事前申込要  
問合せ先 FAX0533-57-4401 またはEメール naka4401@sk2.aitai.ne.jp をお願いします。

お願い

**体験乗船を一部艇に義務付けます、協力をお願いします。**

各艇、バーベキューコンロを持参してください。

魚市場の下は濡れています、腰掛用にシートを持参してください。

ゴミは、各艇持ち帰っていただきます。ご協力ください。

MCC海のたより7月号MCC海のたより7月号MCC海のたより7月号

# 会員艇の紹介 「千春」グループ

今回は千春グループを旧蒲郡ヨットハーバーに訪ねました。

千春と言えば、金野氏、「コンちゃん」大島の主、蒲郡ヨットハーバーの主、自宅で寝るよりヨットに泊まるほうが多い生活、ヨットを一番楽しんでいる人です。

MCCとの関わりは、まだ市民会館の奥、犬飼泊地でマストを毎回起倒させながら大島で楽しんでいた頃、今は亡き前市川会長にいつのまにか会員にされてからです。

当初は犬飼泊地でモーターボートを所有三河湾を楽しんでいましたがツボイからハルだけの中古艇を購入、エンジンを載せ換え同級生の土田船大工の応援を得て初代ブルーメイト25fを進水、2年で船体の再大改修、今度は井上氏の応援を得て完成しました。

次もツボイから旧「魁」ピータソンDOU30、こちらも内装改修、エンジン乗せ換えました。



愛艇「千春」にて、大島をバックに



ある時、マリオネット、ハンター33.5の安部さんから声が掛かり、これを譲受DOU30から乗換えました。以来このヨットも何度も手を掛け改修しました。内装、ベンチシート、ギャレー、床、電気配線、船台……実は、今回エンジンを載せ換えプロペラも改修、昨日試運転したところです。現在は大型トラックの運送業、JA専属、みかんを運びますが、昔は大工の経験もあり色々手がけることが好きなんです。

MCCでは長年泊地管理委員長を歴任しています、MCCレース、昔は参加したが最近は……現千春ではエリカカップ3年連続クラス優勝しました。クルージング先は紀伊勝浦が大好き、寄港は錦程度で往復直行がほとんど、直行15時間が記録です。現在は、メンバーに近藤、広瀬、尾崎の3氏を加えています。ディンギレースの本部船を良く頼まれますし、ハーバーの近くでニシ、モガニ、アサリを採っては皆さんに喜んでもらっています。



改装済みのギャレー周り